

PATENT

Attorney Docket No.: 16869P021000

Client Ref. No. 340001385US1

Handwritten: 10-13-01

jc979 U.S. PTO
09/888192



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Masao Okura et al.

Application No.: Unassigned

Filed: Herewith

For: ELECTRONIC COMMERCE
GOODS DATA SEARCH METHOD
AND SYSTEM WITH THE ADDITION
OF DISTRIBUTOR'S STRATEGY

Examiner: Not Assigned

Art Unit: Not Assigned

**SUBMISSION OF PRIORITY
DOCUMENT**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Applicant respectfully submits priority document Japan P2000-349327 filed
November 10, 2000, to be made of record in the above-referenced application.

Respectfully submitted,

Handwritten signature of Kim Kanzaki
Kim Kanzaki, Ph.D.
Reg. No. 37,632

TOWNSEND and TOWNSEND and CREW LLP
Two Embarcadero Center, 8th Floor
San Francisco, California 94111-3834
Tel.: (650) 326-2400
Fax: (650) 326-2422
kk:amc
PA 3152586 v1

Patent Office
Japanese Government



This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this office.

Date of Application : November 10, 2000
Application Number : P2000-349327

Application (s): Hitachi, Ltd.

Dated this 23rd day of February 2001

Kozo Oikawa
Patent Office

Certificate No. 2001-3010338



日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年11月10日

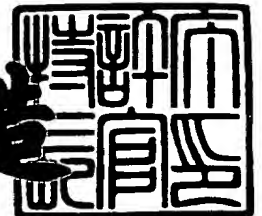
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-349327

出 願 人
Applicant (s): 株式会社日立製作所

2001年 2月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3010338

【書類名】 特許願

【整理番号】 K00013851

【提出日】 平成12年11月10日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 8 9 0 番地 株式会社日立製作所 ビジネスソリューション開発本部内

【氏名】 大倉 正男

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 8 9 0 番地 株式会社日立製作所 ビジネスソリューション開発本部内

【氏名】 小倉 正弘

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 8 9 0 番地 株式会社日立製作所 ビジネスソリューション開発本部内

【氏名】 石橋 耀

【特許出願人】

【識別番号】 000005108

【氏名又は名称】 株式会社日立製作所

【代理人】

【識別番号】 100075096

【弁理士】

【氏名又は名称】 作田 康夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013088

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品検索方法及び装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の端末とネットワークを介して接続されたサーバにおける商品検索方法であって、

各商品に付与された重み付けを保持し、

端末からネットワークを介して商品の選択条件が送られてきたことに応じて、当該選択条件を満足する商品を、前記重み付けに基づいて選択し、

前記選択した商品の情報を前記ネットワークを介して前記端末に送ることを特徴とする商品検索方法。

【請求項 2】

前記選択条件は商品の数を含み、前記選択において指定された商品の数だけ当該選択条件を満足する商品を、前記重み付けに基づいて選択することを特徴とする請求項 1 記載の商品検索方法。

【請求項 3】

複数の端末とネットワークを介して接続された商品検索装置であって、

各商品に付与された重み付けを保持する手段と、

端末からネットワークを介して商品の選択条件が送られてきたことに応じて、当該選択条件を満足する商品を、前記重み付けに基づいて選択する手段と、

前記選択した商品の情報を前記ネットワークを介して前記端末に送る手段とを有することを特徴とする商品検索装置。

【請求項 4】

前記選択条件は商品の数を含み、

前記選択手段は指定された商品の数だけ当該選択条件を満足する商品を、前記重み付けに基づいて選択することを特徴とする請求項 3 記載の商品検索方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品検索方法及び装置に係り、特に、購入条件に該当する商品の検索に有効な商品検索方法及び装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、電子商取引が急速に普及している。電子商取引では、一般的に、購入者がネットワークを介して購入条件に合う商品を選択し、選択した商品の注文データを販売者へ送信する。電子商取引により購入者が例えばパソコンを購入する場合、購入者は、目的を満足する多数の部品をスペックを考慮しながら選択するのに、大きな手間が掛かっていた。このような問題を解決するために、特開平11-15887号公報に開示の「電子商品取引システム」は、購入者が指示した曖昧な要求に基づいて、要求を具体化し、仕様を具体化し、商品候補として購入者へ提案する手段を開示している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記公報に開示された電子商品取引システムでは、曖昧な要求を具体的な仕様や商品の候補に具現化する際、具現化の手段に販売者の思惑を反映していない。このため、人気のある部品は品薄となり、その反対に人気のない部品は余剰在庫を抱えることになりやすい。

【0004】

本発明の目的は、曖昧な要求に該当する仕様や商品の候補が複数あった場合、販売者側の「在庫過多品の早期販売」等の思惑を考慮した商品検索方法及び装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

複数の端末とネットワークを介して接続されたサーバにおいて、各商品に付与された重み付けを保持しておく。そして、端末からネットワークを介して商品の

選択条件が送られてきたことに応じて、この選択条件を満足する商品を、重み付けに基づいて選択する。そして、選択した商品の情報をネットワークを介して端末に送る。なお、選択条件は商品の数を含み、選択において指定された商品の数だけ選択条件を満足する商品を、重み付けに基づいて選択するように構成してもよい。このようにして、曖昧な要求に該当する仕様や商品の候補が複数あった場合、販売者側の「在庫過多品の早期販売」等の思惑を考慮した商品検索方法を提供できる。

【 0 0 0 6 】

【発明の実施形態】

本発明を、図を参照しながら、食材を購入する場合を例にとり詳細に説明する。

【 0 0 0 7 】

図 1 は、本発明のシステム構成を示した図である。図 1 のように、本発明のシステムは、複数の購入者が用いる購入者パソコン 1 0 及び 1 1 と、購入者からの注文を受付ける受注センタに配置されている受注センタサーバ 1 2 とが、それぞれネットワークで繋がって構成されている。購入者パソコン 1 0 及び 1 1 は、購入者のもとに設置したパソコンであり、ネットワーク上で商品を購入する購入者が商品を注文するために使用する。受注センタサーバ 1 2 は、購入者からの注文に対して受注処理するために使用する。なお、この実施形態ではパソコンとサーバを例としたが、要件を満たすシステムであれば、どのようなシステムでもよい。2 0 ～ 3 0 は、受注センタサーバ 1 2 に接続された記憶装置に格納されたデータである。

【 0 0 0 8 】

図 2 は、食材選択条件情報を示しており、購入者が商品を購入する際の、購入条件を選択するために登録する情報の例を示している。この例では、家族構成、食事の種類（区分）、食事の完成品（第 1 レベル）を注文するのか、セット食材（第 2 レベル）を注文するのか、単品の食材（第 3 レベル）を注文するのかの指定や、価格帯の指定を有する。

【0009】

図3は、第1レベル在庫テーブル20を示しており、第1レベル（完成品）のメニュー毎に在庫数が記されている。

【0010】

図4は、第2レベル在庫テーブル21を示しており、第2レベル（セット食材）のメニュー毎に在庫数が記されている。

【0011】

図5は、第3レベル在庫テーブル22を示しており、第3レベル（単品）のメニュー毎に在庫数が記されている。

【0012】

図6は、第1レベル重点販促品テーブル23を示しており、第1レベル（完成品）のメニュー毎に「在庫過多品」「キャンペーン品」「販促ポイント」といった重点販促項目が記されている。

【0013】

図7は、第2レベル重点販促品テーブル24を示しており、第2レベル（セット食材）のメニュー毎に「在庫過多品」「キャンペーン品」「販促ポイント」といった重点販促項目が記されている。

【0014】

図8は、第3レベル重点販促品テーブル25を示しており、第3レベル（単品）のメニュー毎に「在庫過多品」「キャンペーン品」「販促ポイント」といった重点販促項目が記されている。

【0015】

図9は、第1レベル部品表テーブル26を示しており、第1レベル（完成品）のメニューと、そのメニューを構成する第2レベル（セット食材）の食材との対応関係を示している。

【0016】

図10は、第2レベル部品表テーブル27）を示しており、第2レベル（セット食材）の食材と、その食材を構成する第3レベル（単品）の食材との対応関係を示している。

【 0 0 1 7 】

図 1 1 は、第 1 レベル商品属性マスタ 2 8 を示しており、第 1 レベル（完成品）のメニュー毎に「食事区分」「食事制約」「価格区分」といった属性を記している。

【 0 0 1 8 】

図 1 2 は、絞り込み条件のテーブル 2 9 を示しており、商品の絞り込みの条件が記されたテーブルである。

【 0 0 1 9 】

図 1 3 は、注文実績ファイル 3 0 を示しており、顧客毎に商品の検索条件と注文した商品とを保持している。

【 0 0 2 0 】

図 1 4 は、提案メニュー候補検索結果を示しており、購入者へ提案するメニューの候補情報の例を示している。

【 0 0 2 1 】

図 1 5 は、重点販促項目の値が変更した場合の、第 3 レベル（単品）重点販促品テーブルを示している。

【 0 0 2 2 】

図 1 6 は、重点販促項目の値が変更することにより、提案メニュー候補検索結果が変更された場合の例を示している。

【 0 0 2 3 】

図 1 7 は、商品検索のメインのフローチャートである。食材選択条件の指定処理（処理 1）（ステップ 1 0 0）は、詳細は後述するが、購入者が食材選択条件を指定し、指定した食材選択条件を受注センターへ送信するまでの処理である。重点販促食材検索処理（処理 2）（ステップ 1 0 1）は、詳細は後述するが、販売者が設定した重点的に販促したい食材を抽出する処理である。提案メニュー候補検索処理（処理 3）（ステップ 1 0 2）は、詳細は後述するが、購入者が指定した食材選択条件と、販売者が設定した重点販促対象品に該当する食材を使ったメニューを抽出する処理である。候補メニュー絞り込み処理（処理 4）（ステップ 1 0 3）は、詳細は後述するが、提案メニュー候補検索処理（処理 3）により

抽出したメニューを、注文実績等を活用して、購入者がへ提案する件数まで提案メニュー数を絞り込む処理である。メニュー検索結果表示処理（処理5）（ステップ104）は、候補メニュー絞り込み処理（処理4）で絞り込んだメニューを、購入者パソコンに送信し、購入者へ提案する処理である。

【0024】

次に各処理の詳細を、図を用いて説明する。

【0025】

図18を用いて、食材選択条件指定処理（処理1）の詳細を説明する。食材選択条件情報登録（ステップ200）は、購入者が、購入する食材の加工レベル（完成品、セットになった食材、単品）や、購入する食材の価格帯（松、竹、梅）、食事のし好（洋食、和食、中華等）、健康上等からの制約条件（カロリーオフ、減塩、アレルギー）、などの食材選択条件情報20を購入者パソコン10または11へ登録する処理である。食材選択条件情報送信（ステップ201）は、購入者が登録した食材選択条件情報20を受注センタサーバ12へ送信する処理である。

【0026】

図19を用いて、重点販促食材検索処理（処理2）の詳細を説明する。指定加工レベルで在庫有り食材を抽出（ステップ300）は、購入者が食材選択条件情報20で指定した加工レベルの在庫テーブル20～22を参照し、在庫のある食材を抽出する処理である。指定加工レベルで重点販促品対象食材を抽出（ステップ301）は、抽出した食材を対象に、購入者が指定した加工レベルの重点販促品テーブル23～25を参照し、販促ポイントのある食材をさらに抽出する処理である。ここで、販促ポイントとは、販売者の販売戦略（在庫過多品の早期販売、チャネル戦略上の重点商品等）を加味し、販売者が重点的に販売したい食材をその度合に応じてポイント化したものである。この実施形態の例では、重点販促項目の中の「在庫過多品」と「キャンペーン品」のポイントの和としている。「在庫過多品」のポイントは、販売者が各食材毎に在庫過多の度合に応じてポイント化したものである。また「キャンペーン品」のポイントは、販売者が各食材毎にキャンペーンとしての販売意向の度合に応じてポイント化したものである。

【0027】

図20を用いて、提案メニュー候補検索処理（処理3）の詳細を説明する。第1レベルで指定食材条件に該当するメニューを抽出（ステップ400）は、第1レベル（完成品）商品属性マスタ28を基に、購入者が指定した食材選択条件情報（図2）の「食事区分」「食事制約」「価格区分」項目が該当するメニューを抽出する処理である。抽出したメニュー全て繰り返し（ステップ401）は、ステップ400で抽出した全てのメニューに対して、ステップ402～ステップ410の処理を繰り返す処理である。第1レベル（完成品）から指定加工レベルまで繰り返し（ステップ402）は、第1レベル（完成品）から、購入者が指定した食材選択条件情報の「加工レベル」まで、ステップ403～ステップ404の処理を繰り返す処理である。N→N+1レベルへ部品展開（ステップ403）は、部品表テーブル26、27を基に、部品展開し指定加工レベルで構成食材を洗い出す処理である。各食材の所要量計算（ステップ404）は、部品表テーブル26、27の「1人前量」を基に、ステップ403で洗い出した構成食材の所要量を算出する処理である。

【0028】

部品展開した食材と重点販促食材とをマッチング（ステップ405）は、ステップ403で部品展開して洗い出した食材とステップ101で重点販促食材として抽出した食材とをマッチング処理し、合致する場合はステップ406～ステップ409の処理を行ない、合致しない場合はステップ410の処理を行う処理である。

【0029】

在庫量と所要量を比較（ステップ406）は、ステップ404で算出した食材の所要量と在庫テーブル20～22を参照し、在庫量が上回っている場合はステップ407～ステップ408の処理、所要量が上回っている場合はステップ409の処理を行う処理である。提案候補メニューに追加（ステップ407）は、処理しているメニューを、購入者へ提案するメニューの候補に追加する処理である。販促ポイントを算出（ステップ408）は、ステップ403で洗い出した食材の販促ポイントを合計し、第1レベル（完成品）のメニューで販促ポイントを算

出する処理である。提案候補メニューに追加しない（ステップ409）は、処理しているメニューを、購入者へ提案するメニューの候補に加えないようにする処理である。

【0030】

図21を用いて、候補メニュー絞り込み処理（処理4）の詳細を説明する。第1レベル（完成品）で絞り込み条件テーブルに該当するメニューを抽出（ステップ500）は、提案メニュー候補検索処理（処理3）で抽出したメニューの候補の中から、絞り込み条件テーブル29に該当するものを抽出する処理である。ここで、絞り込み条件テーブル29とは、購入者へ提案して有益なメニューとなるよう、諸々の適用条件を定義したものである。この実施形態の例では、注文実績ファイル30を用い、直近での注文実績の有無、及び、季節性の有無を算出し、絞り込み条件テーブル29の条件1～3に合致したメニューのみを抽出する処理を行っている。販促ポイントで並び替え（ステップ501）は、ステップ408で算出したメニュー毎の販促ポイントの高い順にメニューを並び替える処理である。表示件数まで追加絞り込み（ステップ502）は、購入者へ提案する数まで提案メニュー数を絞り込む処理である。提案メニューを絞り込む方法としては、ステップ408で算出した販促ポイントやランダム抽出処理等を組み合わせることにより実施する。この実施形態の例では、販促ポイントの高いメニューを優先して提案メニュー数まで絞り込む処理を行っている。また、絞り込む件数としては、「購入者の注文日数分と同数のメニューを絞り込み、完全自動注文とする方法」や「購入者の注文日数分よりも多くのメニュー数で絞り込み、購入者へ選択してもらう方法」等が考えられるが、ニーズに応じて絞り込み件数の設定を行う。

【0031】

図22を用いて、メニュー検索結果表示処理（処理5）の詳細を説明する。メニュー検索結果送信（ステップ600）は、ステップ502で絞り込んだメニュー情報を、受注センタサーバ12から購入者パソコン10及び11へ送信する処理である。メニュー検索結果表示（ステップ601）は、ステップ600で受信した情報を基に、購入者パソコン10及び11に提案メニュー候補検索結果情報として表示する処理である。

【 0 0 3 2 】

次に販売者の販売戦略の変更により、提案メニューが変更される例を具体的に説明する。図 8 に示した第 3 レベル重点販促品テーブル 2 5 のような販促ポイントである場合、「すき焼 A」の構成食材である「松坂牛薄切り牛肉」の販促ポイントが 5、「ネギ」の販促ポイントが 2、その他の食材の販促ポイントが 0 なので、「すき焼 A」の販促ポイントは $5 + 2 = 7$ 、また「豚しゃぶ A」の構成食材である「黒豚ロース」の販促ポイントが 1、「キャベツ」の販促ポイントが 0、その他の食材の販促ポイントが 0 なので、「豚しゃぶ A」の販促ポイントは 1 となる。すると図 1 4 の提案メニュー候補検索結果情報のように、「すき焼 A」の方が「豚しゃぶ A」よりも検索の優先順位が高くなる。

【 0 0 3 3 】

ここで、販売者の販売戦略の変更により販促ポイントを図 1 5 の変更後の第 3 レベル重点販促品テーブルのようにする場合、「すき焼 A」の構成食材である「松坂牛薄切り牛肉」の販促ポイントが 2、「ネギ」の販促ポイントが 0、その他の食材の販促ポイントが 0 なので、「すき焼 A」の販促ポイントは 2、また「豚しゃぶ A」の構成食材である「黒豚ロース」の販促ポイントが 5、「キャベツ」の販促ポイントが 0、その他の食材の販促ポイントが 0 なので、「豚しゃぶ A」の販促ポイントは 5 となる。すると、図 1 6 の変更後の提案メニュー候補検索結果情報のように、「豚しゃぶ A」の方が「すき焼 A」よりも検索の優先順位が高くなる。

【 0 0 3 4 】

このように、販売者の販売戦略を変更すると、それを加味し、検索の優先順位が変更することができる。

【 0 0 3 5 】

【発明の効果】

本発明によれば、購入者の曖昧な要求を具体的な仕様の商品候補に具現化する際、販売者の思惑を反映し、思惑にあった仕様や商品を優先的に販売者へ提案することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のシステム構成図である。

【図 2】

食材を選択する条件の情報を示すデータテーブルである。

【図 3】

第 1 レベル（完成品）の在庫テーブルである。

【図 4】

第 2 レベル（セット食材）の在庫テーブルである。

【図 5】

第 3 レベル（単品）の在庫テーブルである。

【図 6】

第 1 レベル（完成品）の重点販促品テーブルである。

【図 7】

第 2 レベル（セット食材）の重点販促品テーブルである。

【図 8】

第 3 レベル（単品）の重点販促品テーブルである。

【図 9】

第 1 レベル（完成品）の部品表テーブルである。

【図 1 0】

第 2 レベル（セット食材）の部品表テーブルである。

【図 1 1】

第 1 レベル（完成品）の商品属性マスタテーブルである。

【図 1 2】

絞り込み条件テーブルである。

【図 1 3】

注文実績ファイルである。

【図 1 4】

提案メニュー候補検索結果情報を示す図である。

【図 15】

変更後の第3レベル（単品）の重点販促品テーブルである。

【図 16】

変更後の提案メニュー候補検索結果情報を示す図である。

【図 17】

商品検索のメインフローチャートである。

【図 18】

食材選択条件指定処理（処理1）のフローチャートである。

【図 19】

重点販促食材検索処理（処理2）のフローチャートである。

【図 20】

提案メニュー候補検索処理（処理3）のフローチャートである。

【図 21】

候補メニュー絞り込み処理（処理4）のフローチャートである。

【図 22】

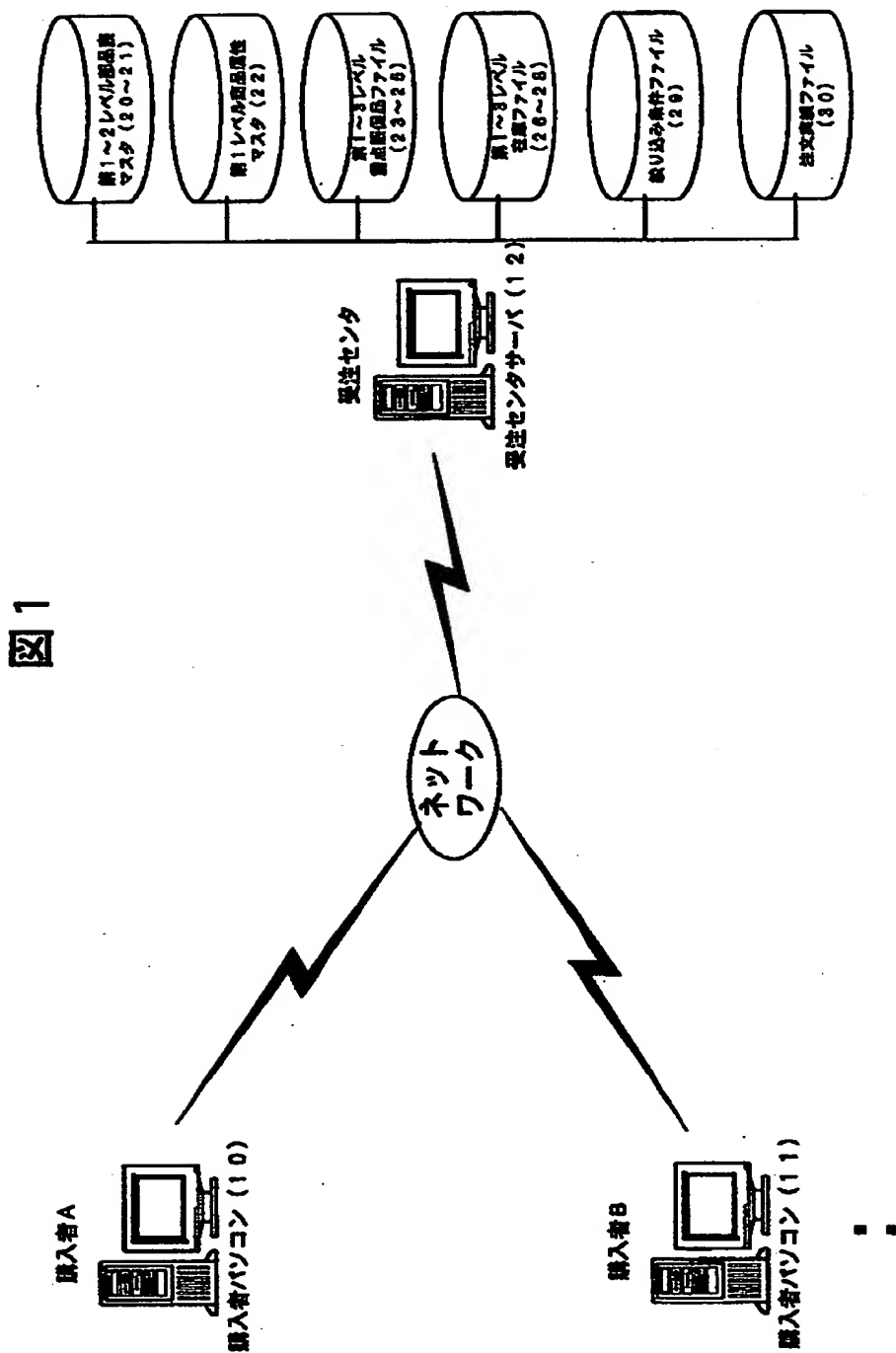
メニュー検索結果表示処理（処理5）のフローチャートである。

【符号の説明】

10：購入者パソコン、11：購入者パソコン、12：受注センタサーバー、
20：第1（完成品）レベル部品表マスタ、21：第2（セット食材）レベル部品表マスタ、22：第1（完成品）レベル商品属性マスタ、23：第1（完成品）レベル重点販促品ファイル、24：第2（セット食材）レベル重点販促品ファイル、25：第3（単品）レベル重点販促品ファイル、26：第1（完成品）レベル在庫ファイル、27：第2（セット食材）レベル在庫ファイル、28：第3（単品）レベル在庫ファイル、29：絞り込み条件ファイル、30：注文実績ファイル。

【書類名】 図面

【図 1】



【図2】

図2

家族構成	大人2名、子供1名
食事制約	<input type="checkbox"/> アレルギー、 <input type="checkbox"/> 減塩、 <input type="checkbox"/> カロリーオフ
注文対象期間	6月2週～6月3週
食事区分	<input type="checkbox"/> 和食、 <input type="checkbox"/> 洋食、 <input type="checkbox"/> 中華、 <input type="checkbox"/> ベジタブル
加工レベル	<input type="checkbox"/> 完成品（第1レベル） <input type="checkbox"/> セット食材（第2レベル） <input type="checkbox"/> 単品食材（第3レベル）
注文価格帯	<input type="checkbox"/> 松、 <input type="checkbox"/> 竹、 <input type="checkbox"/> 梅

【図3】

図3

レベル1 商品ID	レベル1 商品名	在庫数
1100	すき焼A	100
1101	すき焼B	0
:	:	:
1200	しゃぶしゃぶA	45
1201	しゃぶしゃぶB	11
:	:	:
1300	豚しゃぶA	45
:	:	:

~20

【図 4】

図 4

レベル 2 商品 ID	レベル 2 商品名	在庫数
11001	すき焼食材セット A	10
11011	すき焼食材セット B	70
:	:	:
12001	しゃぶしゃぶ食材セット A	80
12011	しゃぶしゃぶ食材セット B	0
:	:	:
13001	豚しゃぶ食材セット A	80
:	:	:

~21

【図 5】

図 5

レベル 3 商品 ID	レベル 3 商品名	在庫数
110011	松坂牛薄切り牛肉	300
:	:	:
110021	上薄切り牛肉	0
:	:	:
120021	ネギ	1000
:	:	:
130011	黒豚ロース	500
:	:	:
140011	キャベツ	100

~22

【図 6】

図 6

レベル1 商品 ID	レベル1 商品名	重点販促区分		
		在庫過多品	キャンペーン品	販促ポイント
1100	すき焼A	—	—	—
1101	すき焼B	2	—	2
:	:	:	:	:
1200	しゃぶしゃぶA	—	—	—
1201	しゃぶしゃぶB	—	—	—
:	:	:	:	:
1300	豚しゃぶA	—	—	—
:	:	:	:	:

【図 7】

図 7

レベル2 商品 ID	レベル2 商品名	重点販促区分		
		在庫過多品	キャンペーン品	販促ポイント
11001	すき焼食材セットA	—	—	—
11011	すき焼食材セットB	—	—	—
:	:	:	:	:
12001	しゃぶしゃぶ食材セットA	—	—	—
12011	しゃぶしゃぶ食材セットB	1	2	3
:	:	:	:	:
13001	豚しゃぶ食材セットA	—	—	—
:	:	:	:	:

【図8】

図8

レベル3 商品ID	レベル3 商品名	重点販促区分		
		在庫過多品	キャンペーン品	販促ポイント
110011	松坂牛薄切り牛肉	—	5	5
110021	上薄切り牛肉	—	—	—
	:	:	:	:
120021	ネギ	—	2	2
	:	:	:	:
130011	黒豚ロース	1	—	1
	:	:	:	:
140011	キャベツ	—	—	—
	:	:	:	:

【図9】

図9

レベル1 部品ID	レベル1 部品名	レベル2 部品ID	レベル2 部品名	1人前量
1100	すき焼A	11001	すき焼食材セットA	1ロット
			:	:
1101	すき焼B	11011	すき焼食材セットB	1ロット
			:	:
1200	しゃぶしゃぶA	12001	しゃぶしゃぶ食材セットA	1ロット
			:	:
:	:	:	:	:
1300	豚しゃぶA	13001	豚しゃぶ食材セットA	1ロット
			:	:
:	:	:	:	:

【図 10】

図 10

レベル2 部品 ID	レベル2 部品名	レベル3 部品 ID	レベル3 部品名	1人前量
11001	すき焼食材セットA	110011 120021	松坂牛薄切り牛肉 ネギ :	200g 1本 :
11011	すき焼食材セットB	110021 120021	上薄切り牛肉 ネギ :	200g 1本 :
:	:	:	:	:
12001	しゃぶしゃぶ食材セットA	110011 140011	松坂牛薄切り牛肉 キャベツ :	200g 1玉 :
:	:	:	:	:
13001	豚しゃぶ食材セットA	130011 140011	黒豚ロース キャベツ :	200g 1本 :
:	:	:	:	:

~27

【図 11】

図 11

レベル1 商品 ID	レベル1 商品名	食事区分	食事制約	価格区分
1100	すき焼A	和食	—	松
1101	すき焼B	和食	—	竹
:	:	:	:	:
1200	しゃぶしゃぶA	和食	—	松
1201	しゃぶしゃぶB	和食	—	竹
:	:	:	:	:
1300	豚しゃぶA	和食	—	松
:	:	:	:	:

~28

【図 1 2】

図 1 2

	直近注文実績	注文実績 (季節性)
条件 1	×	○
条件 2	×	×
条件 3	○	○

【図 13】

図 13

顧客 ID	顧客名	納品日	検索条件			レベル1 注文商品 ID	レベル1 注文商品名	注文商品 ID	注文商品名
			完成区分	希望食事区分	注文価格帯				
6543214	鈴木太郎	00.7.22	レベル3	和食	松	12001	しゃぶしゃぶA	110011 120021	松坂牛薄切り牛肉 キャベツ

【図 14】

図 14

レベル2 部品ID	レベル2 部品名	販促ポイント	レベル3 部品ID	レベル3 部品名	1人前量
11011	すき焼A	7	110011 120021	上薄切り牛肉 ネギ	200g 1本 :
:	:	:	:	:	:
13001	豚しゃぶA	1	130011 140011	黒豚ロース キャベツ	200g 1玉 :
:	:	:	:	:	:

【図 1 5】

図 1 5

レベル 3 商品 ID	レベル 3 商品名	重点販促区分		
		在庫過多品	キャンペーン品	販促ポイント
110011	松坂牛薄切り牛肉	—	2	2
110021	上薄切り牛肉	—	—	—
	：	：	：	：
120021	ネギ	—	—	—
	：	：	：	：
130011	黒豚ロース	—	5	5
	：	：	：	：
140011	キャベツ	—	—	—
	：	：	：	：

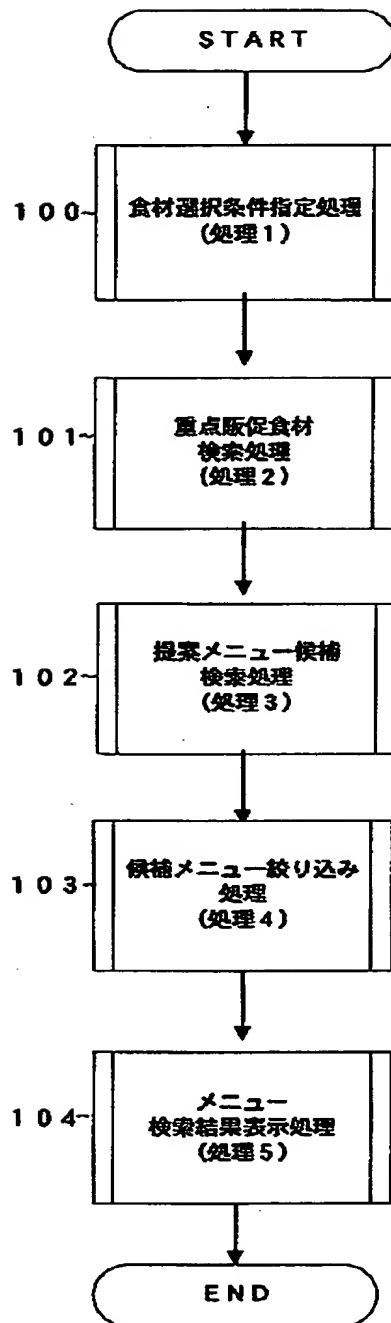
【図 1 6】

図 1 6

レベル 2 部品 ID	レベル 2 部品名	販売ポイント	レベル 3 部品 ID	レベル 3 部品名	1 人前量
：	：	：	：	：	：
13001	豚しゃぶ A	5	130011 140011	黒豚ロース キャベツ	200g 1 玉 ：
：	：	：	：	：	：
11011	すき焼 A	2	110011 120021	上選切り牛肉 ネギ	200g 1 本 ：
：	：	：	：	：	：

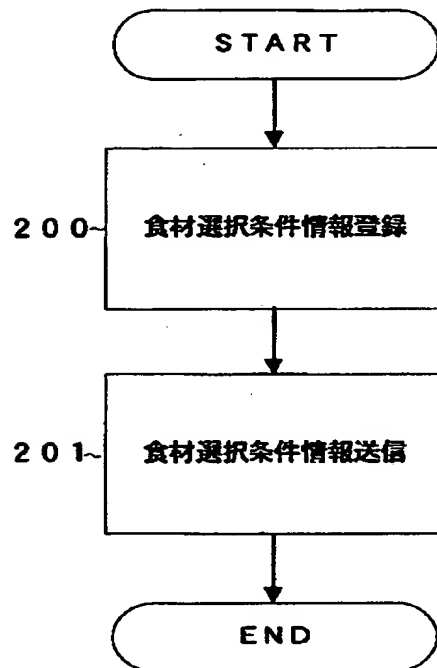
【図17】

図17 メインフローチャート



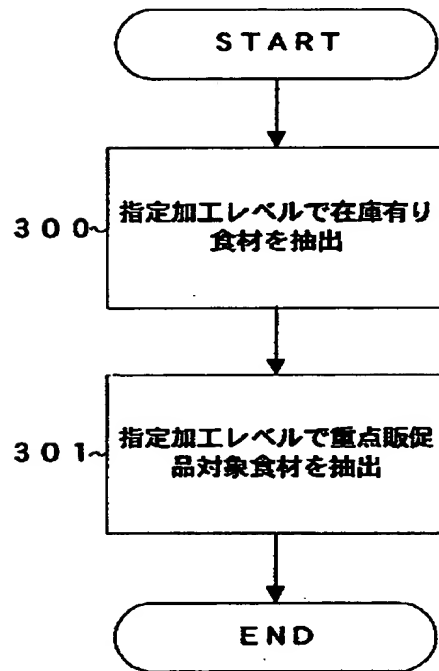
【図 1 8】

図 1 8 食材選択条件指定処理（処理 1）



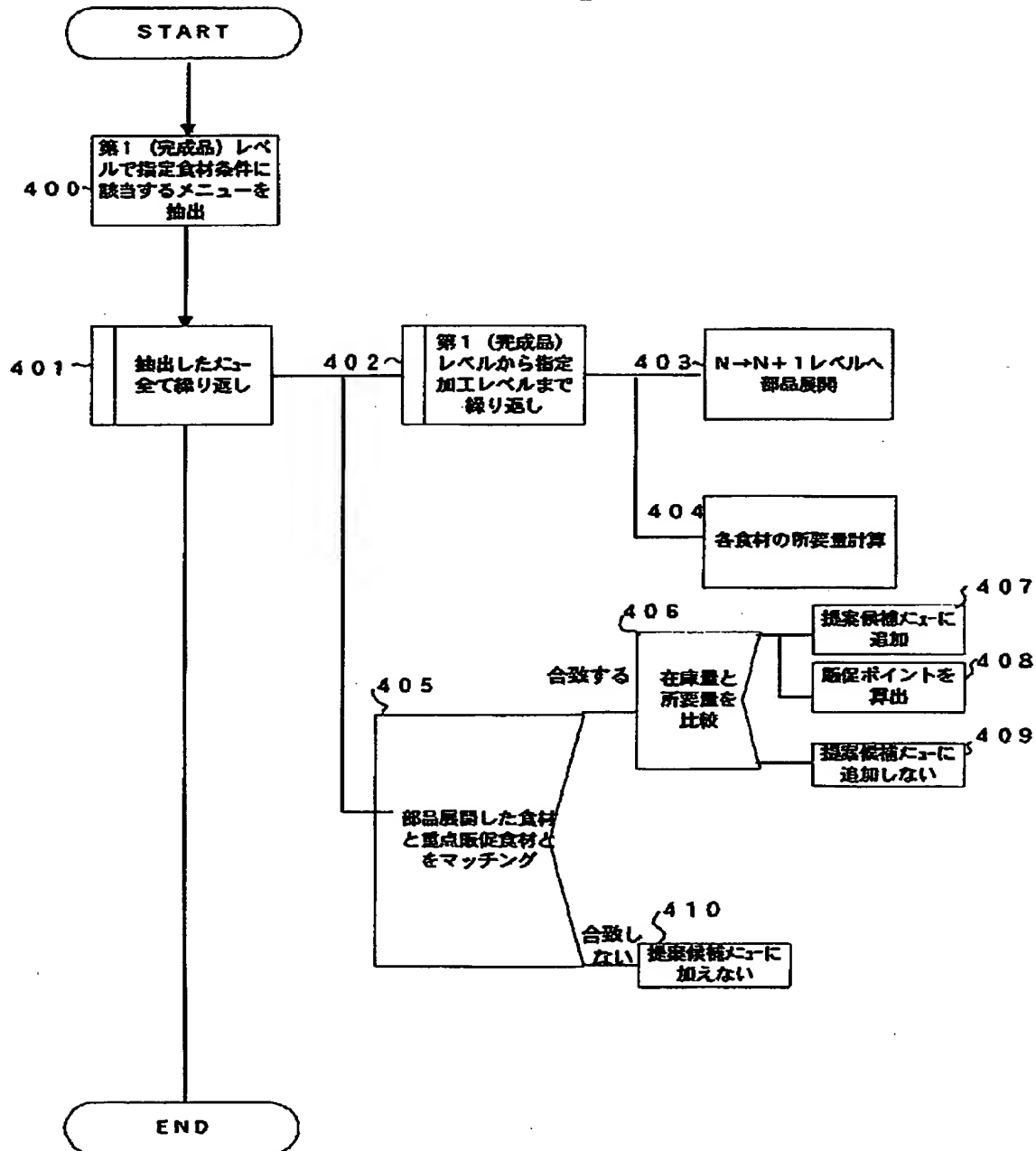
【図 1 9】

図 1 9 重点販促食材検索処理（処理 2）



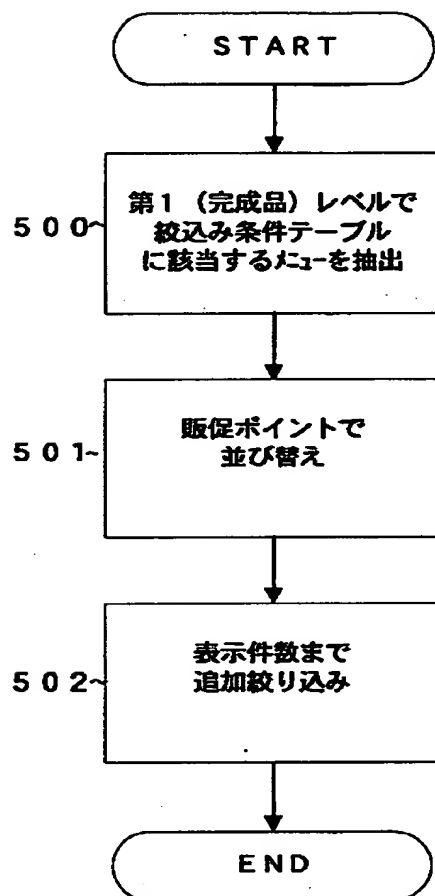
【図 20】

図 20 指定メニュー候補検索処理（処理 3）



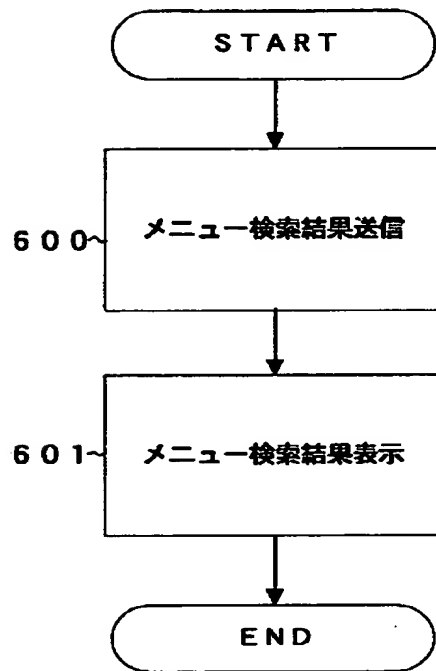
【図 2 1】

図 2 1 候補メニュー絞り込み処理（処理 4）フローチャート



【図 2 2】

図 2 2 メニュー検索結果表示処理 (処理 5)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

曖昧な要求に該当する仕様や商品の候補が複数あった場合、販売者側の「在庫過多品の早期販売」等の思惑を考慮した商品検索方法を提供する。

【解決手段】

複数の端末とネットワークを介して接続されたサーバにおいて、各商品に付与された重み付けを保持しておく。そして、端末からネットワークを介して商品の選択条件が送られてきたことに応じて、この選択条件を満足する商品を、重み付けに基づいて選択する。そして、選択した商品の情報をネットワークを介して端末に送る。なお、選択条件は商品の数を含み、選択において指定された商品の数だけ選択条件を満足する商品を、重み付けに基づいて選択するように構成してもよい。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所